

平成27年3月期 第2四半期決算説明会 データブック

平成26年11月19日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンダード : 4837)

平成27年3月期 第2四半期決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和などにより、景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安進行による原材料価格の高騰や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等により個人消費が低調に推移するなど、景気の先行きは不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めてまいりました。

■ 平成27年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

(単位:百万円)

	平成26年3月期				平成27年3月期				平成27年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		第2四半期累計(実績)		PL前年同期比/BS前期末比		第2四半期累計(予想)	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	94,273	100.0%	191,583	100.0%	91,419	100.0%	△ 2,853	△3.0%	91,000	419
売上原価	83,150	88.2%	167,988	87.7%	81,120	88.7%	△ 2,029	△2.4%	—	—
売上総利益	11,122	11.8%	23,594	12.3%	10,299	11.3%	△ 823	△7.4%	—	—
販売費及び一般管理費	10,117	10.7%	20,651	10.8%	10,240	11.2%	123	1.2%	—	—
営業利益	1,005	1.1%	2,943	1.5%	58	0.1%	△ 946	△94.1%	1,500	△ 1,441
営業外収益	322	0.3%	1,148	0.6%	316	0.3%	△ 5	△1.8%	—	—
営業外費用	619	0.7%	1,247	0.7%	573	0.6%	△ 46	△7.5%	—	—
経常利益	707	0.8%	2,844	1.5%	△ 197	△0.2%	△ 905	△127.9%	1,250	△ 1,447
特別利益	195	0.2%	404	0.2%	5,618	6.1%	5,422	2766.9%	—	—
特別損失	4	0.0%	1,218	0.6%	58	0.1%	53	1089.0%	—	—
当期(四半期)純利益	40	0.0%	521	0.3%	3,733	4.1%	3,692	9165.3%	4,000	△ 266
総資産	103,220	—	100,101	—	97,848	—	△ 2,252	△2.3%	/	
純資産	24,651	—	25,206	—	27,933	—	2,726	10.8%		
自己資本	24,515	—	24,962	—	27,933	—	2,970	11.9%		
自己資本比率	23.8%	—	24.9%	—	28.5%	—	3.6%	—		
ROE(自己資本当期利益率)	0.2%	—	2.1%	—	14.1%	—	12.0%	—		
ROA(総資産経常利益率)	0.7%	—	2.9%	—	△0.2%	—	△3.1%	—		

(注)【ROE】=当期(四半期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】914.1億円(期初予想対比+0.5%)

□ レストランカラオケ事業・・・消費増税による個人消費の落ち込み及び競合他社との競争の激化により当初計画を下回る。

□ トータルアウトソーシング事業・・・車両運行管理業務において、地方自治体の財政削減や民間企業のコスト削減等による契約単価下落の影響があったもの、社会サービス業務において地方公共団体から幅広く指定管理者として施設管理・運営を受託し増加。

【営業利益】0.5億円(期初予想対比△96.1%)

【経常利益】△1.9億円(期初予想12.5億円)

【純利益】37.3億円(期初予想対比△6.7%)

□ 材料費・労務費の適正化に努めたものの、円安基調による原材料の高騰によるコストを吸収するには至らず。また左記のトータルアウトソーシング事業において初期投資コストの影響により利益率が減少したこと、車両管理業務の契約単価下落の影響などがあったことなどにより当初計画を下回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び13～15ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	25年9月期	26年9月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	22,438	21,009	△ 1,428	△6.4%
コントラクトフード事業	15,762	16,056	293	1.9%
メディカルフード事業	18,123	17,930	△ 192	△1.1%
レストランカラオケ事業	20,648	18,397	△ 2,250	△10.9%
スペシャリティールレストラン事業	11,227	8,992	△ 2,235	△19.9%
コンビニエンス中食事業	7,468	7,438	△ 29	△0.4%
トータルアウトソーシング事業	19,170	19,600	429	2.2%
その他	2,721	4,015	1,293	47.5%
消去及び全社	△ 23,288	△ 22,022	1,266	5.4%
売上高 計	94,273	91,419	△ 2,853	△3.0%

(単位:百万円)

セグメント利益	25年9月期	利益率	26年9月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	1,847	8.2%	1,470	7.0%	△ 376	△20.4%
コントラクトフード事業	949	6.0%	804	5.0%	△ 145	△15.3%
メディカルフード事業	597	3.3%	480	2.7%	△ 116	△19.5%
レストランカラオケ事業	75	0.4%	262	1.4%	187	247.2%
スペシャリティールレストラン事業	△ 165	△1.5%	△ 294	△3.3%	△ 128	△77.7%
コンビニエンス中食事業	234	3.1%	162	2.2%	△ 71	△30.4%
トータルアウトソーシング事業	1,032	5.4%	810	4.1%	△ 221	△21.5%
その他	△ 324	△11.9%	△ 347	△8.6%	△ 22	△7.1%
消去及び全社≒HQコスト	△ 3,242	—	△ 3,291	—	△ 49	△1.5%
営業利益	1,005	1.1%	58	0.1%	△ 946	△94.1%

□ エスロジックス事業は、主にグループ内への新規出店・リニューアルに伴う内装工事・厨房備品等の販売が減少したことにより売上高は210.0億円(前年同期比6.4%減)となりました。また、売上高の減少及び仕入価格の高騰などにより、セグメント利益は14.7億円(前年同期比20.4%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、新規店の貢献等により売上高は160.5億円(前年同期比1.9%増)となりましたが、材料費高騰等の影響によりセグメント利益は8.0億円(前年同期比15.3%減)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、病院施設などの経営環境が依然として厳しい状況の中、売上高は179.3億円(前年同期比1.1%減)となりました。また売上減少に対応した労務費コントロールの遅れ及び原材料高騰の影響によりセグメント利益は4.8億円(前年同期比19.5%減)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、メニュー・ランチの強化、各種キャンペーン企画、ケータイ会員の拡大等の集客施策を実施してまいりましたが、消費者の低価格・節約志向が依然として続いており、売上高は183.9億円(前年同期比10.9%減)となりましたが、コスト管理の徹底によりセグメント利益は2.6億円(前年同期比247.2%増)となりました。

□ スペシャリティールレストラン事業は持分売却に伴い、米国の事業子会社が連結除外されたことにより売上高は89.9億円(前年同期比19.9%減)、セグメント損失は2.9億円(前年同期は1.2億円の損失)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境の中で、品揃えの強化、キャンペーン企画を実施してまいりましたが、売上高は売上高は74.3億円(前年同期比0.4%減)、新規店の初期コスト及び冷夏、豪雨等の影響により自販機の手数料収入が減少したこと等により、セグメント利益は1.6億円(前年同期比30.4%減)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、社会サービス事業において地方公共団体から幅広く指定管理者として施設管理・運営を受託した結果、売上高は196.0億円(前年同期比2.2%増)となりましたが、社会サービス事業の初期投資コストの影響により利益率が減少したことと、車両運行管理業務における地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等による契約単価下落の影響によりセグメント利益は8.1億円(前年同期比21.5%減)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】4ページ及び6～7ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	26年3月期	26年9月期	増減額
現金及び預金	11,043	16,415	5,372
売上債権	13,060	13,052	△ 7
その他流動資産	7,735	6,488	△ 1,246
有形固定資産	35,434	28,814	△ 6,619
のれん	9,278	8,134	△ 1,144
敷金及び保証金	8,750	8,557	△ 193
その他固定資産・投資等	14,798	16,386	1,587
資産計	100,101	97,848	△ 2,252

(単位:百万円)

	26年3月期	26年9月期	増減額
仕入債務	8,575	7,870	△ 704
借入金・社債(短期・長期)	37,002	37,585	582
リース債務(短期・長期)	4,877	3,758	△ 1,118
資産除去債務	3,207	3,034	△ 173
その他負債	21,231	17,666	△ 3,564
負債計	74,894	69,915	△ 4,979
純資産	25,206	27,933	2,726
自己資本比率	24.9%	28.5%	3.6%

□ 総資産は、前期末に比べ22.5億円減少し978.4億円(前期末比2.3%減)となりました。

現金及び預金については53.7億円増加いたしました。原材料及び貯蔵品が6.3億円、商品及び製品が1.3億円、前払費用が6.2億円及び未収入金が2.5億円減少した一方、短期繰延税金資産が4.0億円増加したことにより、その他流動資産が12.4億円減少いたしました。また、主にRestaurant Hospitality, LLCの持分の一部を譲渡しRestaurant Hospitality, LLC及びその100%連結子会社Patina Restaurant Group, LLC 他事業子会社等17社が連結子会社から除外されたことにより有形固定資産が66.1億円並びにのれんが11.4億円減少した一方、その他固定資産・投資等が15.8億円増加したことにより、前期末に比べ63.7億円減少し618.9億円となりました。

□ 負債は、前期末に比べ49.7億円減少し699.1億円(前期末比6.6%減)となりました。

仕入債務が7.0億円、リース債務が11.1億円、その他負債に含まれている賞与引当金が5.3億円、未払金が10.8億円、未払費用が8.6億円、未払法人税等が5.6億円及び前受金が1.7億円減少した一方、借入金・社債が5.8億円増加したことにより、前期末に比べ42.8億円増加し307.7億円となりました。

□ 純資産は、前期末に比べ27.2億円増加し279.3億円(前期末比10.8%増)となりました。

為替相場の変動により為替換算調整勘定が2.0億円減少した一方、四半期純利益37.3億円の計上と剰余金の配当5.8億円により利益剰余金が31.4億円増加したことによりです。

以上の結果、当第2四半期末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.6ポイント上昇し28.5%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信【添付資料】4ページ及び10～11ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	25年9月期	26年9月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	2,023	2,367	344
投資活動キャッシュ・フロー	△ 7,714	456	8,171
財務活動キャッシュ・フロー	8,519	△ 443	△ 8,962
換算差額	97	△ 49	△ 146
現金及び現金同等物の増減額	2,924	2,331	△ 593
現金及び現金同等物の期首残高	11,789	10,810	
現金及び現金同等物の期末残高	14,713	13,142	

□ 営業活動の結果得られた資金は23.6億円(前年同期は20.2億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前純利益が53.6億円計上されたほか、関係会社株式売却益が54.4億円並びに法人税等の支払額が10.9億円発生した一方、減価償却費が29.3億円、のれん償却額及び負ののれん償却額が3.8億並びに未払消費税等の増加額が3.1億円あったことによります。

□ 投資活動の結果得られた資金は4.5億円(前年同期は77.1億円の資金使用)となりました。

これは主に、定期預金及び拘束性預金の預入による支出が37.2億円並びに有形固定資産の取得による支出が4.8億円あった一方、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が36.9億円、有形固定資産の売却による収入が7.9億円並びに敷金及び保証金の回収による収入が1.9億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用された資金は4.4億円(前年同期は85.1億円の資金獲得)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が84.8億円あった一方、リース債務の返済による支出が11.1億円、長期借入金の返済による支出が65.9億円、社債の償還による支出が3.8億円並びに配当金の支払額が5.8億円あったことによります。

以上の結果、当第2四半期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ23.3億円増加し131.4億円(前期末比21.6%増)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	25年9月期	26年3月期	26年9月期
自己資本比率(%)	23.8	24.9	28.5
時価ベースの自己資本比率(%)	19.0	19.3	20.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	1,199.2	591.4	900.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3.7	7.0	5.0

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	25年9月期	26年3月期	26年9月期	増減額
借入金・社債	42,811	37,002	37,585	582
リース債務	4,035	4,877	3,758	△ 1,118
割賦未払金	1,675	1,486	1,296	△ 189
未経過リース料期末残高相当額(注)	1,112	849	680	△ 168
合計	49,635	44,215	43,321	△ 894

(注) 不動産リース取引は除く

V. 平成27年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4ページ記載]

- 平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において5月14日に発表しました業績予想を変更しておりません。

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	191,583	177,000	△ 14,583	△7.6%
営業利益	2,943	3,800	856	29.1%
経常利益	2,844	3,300	455	16.0%
当期純利益	521	5,500	4,978	954.5%

VI. セグメント別店舗数推移表

25年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加	47	27	1	3	1	2	8	42	4	4	2	5	3	6	64
	減少	1	4	3	5	5	10	12	39	1	1	2	4	1	36	84
	残	1,346	1,369	1,367	1,365	1,361	1,353	1,349	1,349	1,350	1,353	1,353	1,354	1,356	1,326	1,326
メディカル	増加	1	32	6	5	6	4	0	53	19	3	1	0	4	4	84
	減少	47	2	4	0	1	1	8	16	6	7	1	4	1	41	76
	残	779	809	811	816	821	824	816	816	829	825	825	821	824	787	787
レストランカラオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	減少		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	残	301	301	302	301	301	301	301	301	301	303	303	303	302	302	302
車両 管理台数	増加		204	20	20	38	18	24	324	19	17	17	43	10	22	452
	減少		234	21	18	34	10	19	336	20	27	20	17	9	13	442
	残	3,586	3,556	3,555	3,557	3,561	3,569	3,574	3,574	3,573	3,563	3,560	3,586	3,587	3,596	3,596
社会 管理人員	増加		1,370	47	24	64	200	46	1,751	70	24	39	4	91	46	2,025
	減少		831	37	38	22	19	47	994	29	12	16	22	19	13	1,105
	残	6,968	7,507	7,517	7,503	7,545	7,726	7,725	7,725	7,766	7,778	7,801	7,783	7,855	7,888	7,888
コンビニエンス中食	残	389			395				398			403				398

26年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加	1	19	4	11	6	5	6	51	3	2	2	2	1	8	69
	減少		7	6	5	2	2	3	25	2	1	7	1	6	19	61
	残	1,327	1,339	1,337	1,343	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,355	1,350	1,351	1,346	1,335	1,335
メディカル	増加		34	4	4	6	2	3	53	5	1	14	1	2	3	79
	減少	1	5	4	4	2	5	2	22	3	2	2	0	5	28	62
	残	786	815	815	815	819	816	817	817	819	818	830	831	828	803	803
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	減少		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	4
	残	302	302	302	302	302	302	301	301	301	302	302	299	300	300	300
車両 管理台数	増加		180	30	20	26	16	25	297	19	16	15	11	13	17	388
	減少		177	27	25	19	14	20	282	27	9	9	11	14	21	373
	残	3,596	3,599	3,602	3,597	3,604	3,606	3,611	3,611	3,603	3,610	3,616	3,616	3,615	3,611	3,611
社会 管理人員	増加		1,111	37	37	52	166	98	1,501	8	6	35	47	34	45	1,676
	減少		881	145	22	48	41	55	1,192	31	15	15	65	2	8	1,328
	残	7,888	8,118	8,010	8,025	8,029	8,154	8,197	8,197	8,174	8,165	8,185	8,167	8,199	8,236	8,236
コンビニエンス中食	残	398			393				390			391				382

27年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		24	6	5	2	3	5	45							
	減少		9	5	4	3	3	4	28							
	残	1,335	1,350	1,351	1,352	1,351	1,351	1,352	1,352							
メディカル	増加		28	5	7	3	4	2	49							
	減少		2	7	3	3	4	4	23							
	残	803	829	827	831	831	831	829	829							
レストランカラオケ	増加								0							
	減少			1	1	15		1	18							
	残	300	300	299	298	283	283	282	282							
車両 管理台数	増加		165	30	30	27	10	22	284							
	減少		178	21	17	20	18	7	261							
	残	3,611	3,598	3,607	3,620	3,627	3,619	3,634	3,634							
社会 管理人員	増加		1,046	30	27	13	99	130	1,345							
	減少		472	85	37	195	117	57	963							
	残	8,236	8,810	8,755	8,745	8,563	8,545	8,618	8,618							
コンビニエンス中食	残	381			388				383							

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

25年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	3,572,283	3,609,291	3,596,864	3,675,231	4,195,466	3,607,434	22,256,568	3,168,636	3,185,633	5,554,985	4,115,444	3,028,296	3,933,531	45,243,094
客数(千人)	2,359	2,456	2,406	2,483	2,812	2,494	15,010	2,201	2,109	2,919	2,598	2,093	2,664	29,594

26年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	3,307,754	3,423,516	3,292,694	3,262,947	4,150,249	3,190,036	20,627,196	2,867,804	3,106,166	5,261,975	3,918,425	2,564,455	3,589,997	41,936,018
客数(千人)	2,279	2,388	2,315	2,383	2,766	2,205	14,334	1,991	1,982	2,698	2,411	1,776	2,383	27,575

27年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	2,973,101	3,254,399	2,860,704	2,908,883	3,751,525	2,725,066	18,473,679							
客数(千人)	2,045	2,198	2,040	2,128	2,570	1,967	12,946							